

日 本 史

(問 題)

2011年度

〈2011 H23051119〉

注 意 事 項

1. 問題冊子は、試験開始の指示があるまで開かないこと。
2. 問題は2～14ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべて、マーク解答用紙の所定欄にHBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
4. 氏名は、試験開始の指示があってから、マーク解答用紙の所定欄に正確にていねいに記入すること。
5. マーク欄は、はっきり記入すること。また、訂正する場合は、消しゴムでていねいに、消し残しがないようよく消すこと（砂消しゴムは使用しないこと）。

マークする時	● 良い	○ 悪い	○ 悪い
マークを消す時	○ 良い	○ 悪い	○ 悪い

6. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。
7. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。

I 次の文章A・Bを読み、問1～12に答えよ。解答はマーク解答用紙の該当する記号をマークせよ。

A 日本列島の住居や建築物の歴史をふり返ってみよう。旧石器時代は、洞穴を利用したり、簡素な構造の小屋を一時的に建てたりしていたと推測されている。食料を獲得するために、頻繁に移動する生活をおくっていたからであろう。縄文時代以降になると、堅穴住居が一般的になる。地面を深く掘りくぼめ、大がかりな屋根を葺く構造は、かなりの作業量を要するが、建ててしまえば数年～数10年の耐久性をもつと考えられる。とくに、三内丸山遺跡に代表されるような巨木を用いた建築物や計画的な集落配置は、安定的な定住生活をぬきにしては理解できない。

弥生時代には、堅穴住居や平地住居、高床倉庫などから構成される集落の周りに濠をめぐらす例が多くなり、その性格についてはさまざまな議論がある。ひとつの集落内の住居数も増えるが、これは水田稲作の普及による大規模な共同作業の発生や、人口密度の上昇をうかがわせる。古墳時代に入ると、一般的な集落を囲む環濠は姿を消すかわりに、集落から独立して環濠や柵をめぐらせた豪族の居館が現れるようになる。古墳の出現とほぼ時期を同じくすることのような集落の変化は、地域を支配する者とされる者の分離がすすんだことを物語っている。

問1 下線部aに関連して、縄文時代のくらしの説明として、誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア 低温で焼成され、厚手で装飾の多い土器がさかんに用いられた。
- イ 釣針や銚などの骨角器や、丸木舟を用いた漁労がさかんに行なわれた。
- ウ 多くの集落の中央には広場状の空間があり、祭りや集会、共同作業などの場と考えられる。
- エ 呪術的風習から拔牙や研歯を施した者も多く、死後は大規模な墳丘に伸展葬された。
- オ 集落の周りには、ごみや食べかすなどの長期的な廃棄によって貝塚ができた。

問2 下線部bと同様に大陸から伝わった弥生時代の事物として、誤っているものはどれか、1つ選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

- ア 紡錘車 イ 石棒 ウ 石包丁 エ 支石墓 オ 竪杵

問3 下線部cにあたる遺跡はどれか、1つ選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

- ア 吉野ヶ里遺跡 イ 酒船石遺跡 ウ 三ツ寺I遺跡 エ 黒井峯遺跡 オ 土井ヶ浜遺跡

問4 下線部dに関連して、古墳時代の豪族や民衆についての説明として、正しいものはどれか、2つ選べ。

- ア 中央や地方の豪族は、ヤマト政権から家柄や地位をあらわす称号としての氏を与えられた。
- イ ヤマト政権の地方官として、多くの地方豪族が国造に任命され、のちに郡司となるものもあった。
- ウ 勢力拡大を図るヤマト政権と地方豪族の間には、物部守屋の乱に代表される紛争が起きた。
- エ 熊本県の江田船山古墳出土の鉄刀銘には、仁徳天皇に比定される大王の名が刻まれていた。
- オ 有力な豪族は、私有民として部曲を支配し、奴とよばれる隷属民もいた。
- カ 新しい技術や知識を伝えた渡来人は伴造や伴に編成され、名代・子代の民を率いた。

問5 文章Aに描かれた弥生時代から古墳時代中期の日本列島のようなすを伝える中国の史書として、誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア 『隋書』倭国伝 イ 『魏志』倭人伝 ウ 『漢書』地理志
- エ 『宋書』倭国伝 オ 『後漢書』東夷伝

B 6世紀末ごろより、支配者層の営む建築物は、大陸の影響を受け大きな画期をむかえた。仏教信仰の深まりにより、初めての本格的な伽藍をもつ法興寺が飛鳥の地に建立されたが、これは礎石の上に柱を立て屋根に瓦を葺く、従来の日本列島にはない技法・様式であった。さらに7世紀の終わりごろには、条坊制の街区をもつ藤原京の建設が進み、有力な王族や中央豪族は京のなかに住宅を建てて集住することが求められた。一方、この時期の一般的な集落では、西日本からしだいに掘立柱式の住居が普及していった。

律令国家の成立とともに一応の完成をみた大陸風の建築様式は、やがて少しずつ日本化していった。平安時代に入ると、天台宗や真言宗が山中を修行の場としたため、多くの寺院が山間の地に建立された。地形的な制約から伽藍配置は形式にとらわれないものとなり、大和の山中に建てられた 1 のように、瓦を用いない檜皮葺きや柿葺きの屋根もみられるようになった。また、貴族の住宅は、柱などを白木造りとし屋根は檜皮葺きとする、いわゆる寝殿造となり、建物の内部のふすまや屏風には、唐絵に代わり大和絵が描かれた。

問6 下線部 e の配置として、もっとも古い様式の説明はどれか、1つ選べ。

- ア 金堂を伽藍の中心とし、2つの塔を中門の外に配置する。
- イ 中門から見て、左右それぞれに塔と金堂を配置する。
- ウ 塔を中心として、3つの金堂を左右と奥に配置する。
- エ 中央に金堂を、その左右に2つの塔を配置する。
- オ 金堂を後ろに、塔をその前に配置する。

問7 下線部 f を建立した人物は誰か、1人選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

- ア 蘇我稲目 イ 舒明天皇 ウ 厩戸王 エ 蘇我馬子 オ 推古天皇

問8 下線部 g に遷都した天皇による施政として、正しいものはどれか、2つ選べ。

- ア 庚寅年籍の作成を命じた。 イ 近江令の編纂を命じた。
- ウ 大宝律令を施行した。 エ 庚午年籍の作成を命じた。
- オ 八色の姓を制定した。 カ 飛鳥浄御原令を施行した。

問9 下線部 h に関連して、奈良時代に起こった皇族や貴族をめぐる政争の説明として、誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア 藤原不比等の四子があいついで病死すると、皇族出身の橘諸兄が政権を握った。
- イ 橘諸兄が重用した吉備真備や玄昉を除こうと、藤原仲麻呂が九州で挙兵した。
- ウ あいつぐ政争などの政治的不安のなか、聖武天皇は恭仁京へ遷都した。
- エ 橘諸兄の子奈良麻呂は、大伴氏らと結び藤原南家の台頭に抵抗を図ったが捕らわれた。
- オ 称徳天皇の庇護のもと道鏡は皇位をねらったが、和氣清麻呂らにはばまれた。

問10 下線部 i に関する次の文章のうち、誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア 空海は、唐で密教を学んだ後帰国し、真言宗を開いた。
- イ 空海は、嵯峨天皇から平安京内の東寺を賜った。
- ウ 最澄は、比叡山で修行後入唐し、日本に天台宗を伝えた。
- エ 大乘戒壇の設立をめざした最澄は、『顯戒論』を著し上奏した。
- オ 天台・真言両宗は、加持祈禱などによる現世利益の追求を否定した。

問11 空欄 1 に該当する建築物として、正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア 平等院鳳凰堂 イ 室生寺金堂 ウ 唐招提寺講堂 エ 富貴寺大堂 オ 法界寺阿弥陀堂

問12 下線部 j の祖とよばれる画家として、正しいものはどれか、1つ選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

ア 藤原行成

イ 百済河成

ウ 藤原隆能

エ 巨勢金岡

オ 慶滋保胤

Ⅱ 次の文章を読み、問1～12に答えよ。解答はマーク解答用紙の該当する記号をマークせよ。

日本の中世は、飢饉と戦乱に明け暮れた時代と言っても過言ではなく、社会は飢饉によって大きな影響を受けた。例えば、治承・寿永の内乱が勃発した1180年は、夏の激しい旱魃と秋の大型台風による **A** の大飢饉が発生した年でもあった。飢饉はほぼ3年にわたって続き、平氏政権は多大な打撃を被った。この飢饉の様子を自らの随筆作品に記した鴨長明^aは、仁和寺の僧による餓死者の供養の話を紹介し、「(死者の)人数を知らむとて、四・五月両月を計へたりければ、(中略)すべて四万二千三百余なんありける。いはむやその前後に死ぬる物多く、また、河原・白河・西の京、もろもろの辺地などを加へて言はば際限もあるべからず」と述べている。飢饉のさなか、平氏政権を一代で樹立した平清盛は世を去り、飢饉の沈静化とともに北陸道で平氏と戦って勝利した **1** らの侵攻によって、平氏政権は都落ちし、まもなく瓦解を迎えることとなった。

平氏政権に代わって東国に樹立された鎌倉幕府も、飢饉には悩まされ続けた。**2** が鎌倉幕府の執権を務めていた時期、日本列島は想像を絶する冷夏に見舞われ、これに発する **B** の大飢饉は2年以上にわたって続いた。武家の基本法典として知られる御成敗式目は、朝廷が飢饉終息を願って年号を **3** に改元した直後、まさにこの飢饉のさなかに制定されたのである。下層身分の者の中には、この時期、食いつなぐためにあえて下人^dとなる道を選ぶ者もあった。約30年後に起こったもうひとつの飢饉のせいもあって、鎌倉時代後期の社会は飢饉からの復興に相当な時間を要した。

その後、室町時代に入ると、飢饉は再び社会に大きな影響を与えた。足利義政^fの後継者争いに端を発する応仁の乱が起る6～8年前、中世では最大の被害が出たと言われる **C** の大飢饉が続いた。京都では餓死した人が山をなし、諸国で飢えた人々が食糧を求めて集まってきたために、食の乏しい3月頃には、鴨川が餓死者によってふさがれてしまったという。飢饉はその後も断続的に続き、飢餓民の京都への流入と徳政を求める **4** の蜂起が、応仁の乱が始まる数ヶ月前まで続いたのである。応仁の乱において、東西両軍から傭兵として徴募された **5** と呼ばれる雑兵の一定部分は、数年前から京都に流入してきていた飢餓民や土一揆勢によって占められていたと考えられる。

問1 空欄A・B・Cに当てはまる語句の組み合わせとして、正しいものはどれか、1つ選べ。

- | | |
|------------------|------------------|
| ア A 寛正 B 寛喜 C 養和 | イ A 養和 B 寛正 C 寛喜 |
| ウ A 寛喜 B 養和 C 寛正 | エ A 寛正 B 養和 C 寛喜 |
| オ A 養和 B 寛喜 C 寛正 | カ A 寛喜 B 寛正 C 養和 |

問2 下線部aの平氏政権が受けた打撃について、正しく説明しているものはどれか、1つ選べ。

- ア 平将門の乱によって、東国に築きあげられた平氏政権の基盤に大きな打撃を与えた。
- イ 前九年合戦・後三年合戦を通じて、奥羽地方に築かれた平氏政権の基盤に大きな打撃を与えた。
- ウ 鳥羽上皇の信任を得て瀬戸内海の内海を平定した、平正盛ら伊勢平氏の基盤に大きな打撃を与えた。
- エ 平忠常の乱で関東に多くの荘園・知行国を獲得した、平氏政権に大きな打撃を与えた。
- オ 大輪田泊をはじめ、瀬戸内海に経済基盤をもつ平氏政権に大きな打撃を与えた。

問3 下線部bの著作として、正しいものはどれか、1つ選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

- ア 徒然草 イ 愚管抄 ウ 元亨釈書 エ 平家物語 オ 吾妻鏡

問4 下線部cの大意として、正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア 4・5月の死者数は約42,300人で、前の月はそれ以上に多かった。
- イ 4・5月の死者数は約42,300人で、今後はもう少し減るだろう。
- ウ 4・5月の死者数は約42,300人で、京都での死者がそのうちの大部分を占めた。
- エ 4・5月の死者数は京都の中心部だけで約42,300人で、周辺部を加えればもっと増えるだろう。
- オ 4・5月の死者数は京都の中心部で約42,300人もいたが、周辺部ではそれより少ないだろう。

問5 空欄1に該当する語句として、正しいものはどれか、1つ選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

- ア 源範頼 イ 源義仲 ウ 平維盛 エ 以仁王 オ 源頼政

問6 空欄2に該当する語句として、正しいものはどれか、1つ選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

- ア 北条義時 イ 北条泰時 ウ 北条時頼 エ 北条時宗 オ 北条時政

問7 空欄3に該当する語句として、正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア 承久 イ 貞応 ウ 貞永 エ 承和 オ 貞和

問8 中世における下線部dの説明として、最も正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア 武士や名主に隷属し、その直営地を耕作していた。
イ 交通の要所などに集まって、死んだ牛馬の処理などで生計を立てていた。
ウ 家督を継がない武士の子で、一族の長の支配を受けた。
エ 将軍と主従関係を結んだ武士一族の長であった。
オ 荘園領主の支配に従い、年貢・公事や夫役などの負担を強いられた。

問9 下線部eに関する説明として、誤っているものはどれか、2つ選べ。

- ア 中国から輸入された明銭が用いられていた。
イ 三斎市が開かれていた。
ウ 問と呼ばれる運送業者が活動した。
エ 二毛作が全国的に普及した。
オ 牛馬耕が行なわれていた。
カ 高利貸業者として借上が活躍した。

問10 下線部fに関する説明として、正しいものはどれか、2つ選べ。

- ア 幕府の御用絵師である狩野正信に、襖絵を描かせた。
イ 世阿弥を同朋衆に迎え、能楽の発展に努めた。
ウ 連歌師の宗祇に、『新撰菟玖波集』を撰進させた。
エ 故実に明るい一条兼良に、『樵談治要』を執筆させた。
オ 作庭師の善阿弥らに、慈照寺銀閣の庭を造らせた。
カ 夢窓疎石の弟子で五山僧の義堂周信を、鎌倉から京都に呼び戻した。

問11 空欄4に該当する語句として、正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア 一向一揆 イ 土一揆 ウ 荘家の一揆 エ 百姓一揆 オ 国一揆

問12 空欄5に入る語句の説明として、正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア 武士団の棟梁に直属し、兵の道と呼ばれる信義や礼節を重んじた。
イ 荘園ごとに任命され、兵糧米を徴収する権利を与えられた。
ウ 戦国大名の重臣との間に、血縁のある親子関係に似た関係を結んだ。
エ 武装し、沿岸部において海賊行為をはたらいていた。
オ 弓・槍を持ち、徒歩で集団をなして戦い、放火・略奪などを行なった。

Ⅲ 次の史料および文章を読み、問1～12に答えよ。解答はマーク解答用紙の該当する記号をマークせよ。なお、設問のない空欄もある。

史料 [1] は用いざる国なければ何れの国にても作るべき物なれ共、東海道にては尾張・三河・遠江・駿河は作れども関東・北国にて余り作る事を聞かず。又九州の地は能く心がけて種々の産物を出せども、[1] を作る事は疎にて多く中国の [1] を求め用ひ来れり。(中略) 此 [1] を所(注1)に作れば操るに賃を取る女子あり。
[1] 仲買・[1] 問屋・女の糸をつむぐ杯より、手数拾四、五通もかかれれば各利を得るものありて、家業となりて所の賑ひともなる事なれば大いなる国益なり。

(注1) その村のこと。

史料は、[2] が著した農書である『広益国産考』の一節である。[2] は豊後の人で、諸国を旅行し、見聞したに基づいて農書を多く著した農学者であった。こうした農書には、新しい作物の栽培技術や農業の知識などが記され、広く読まれたのである。

[1] をはじめとする商品作物の栽培には、自給肥料のほかに、金肥(購入肥料)である [3] ・油粕が用いられて生産性が向上した。[3] は江戸時代の初期には九州・四国などで生産されたが、のちに東国物が増え、幕末には松前物が市場を占めるようになった。

また、増加する都市人口と都市の拡大によって消費は増大し、そうした需要に対応するために、漁業や林業などの諸産業が発展した。

鉱業では、17世紀中頃になると、金銀の産出量が減少し、かわって銅の産出量が増加した。鉄は、鉄鉱石の採掘も行なわれたが、砂鉄を原料とするたたら製鉄が発展した。たたら製鉄の発展は鉄製の農具の改良にもつながっていった。

問1 空欄1に該当するものはどれか、1つ選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

ア 綿 イ 菜種 ウ 榊 エ 漆 オ タバコ

問2 下線部aに関連して、各地の特産物になったもので、誤っているものはどれか、1つ選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

ア 出羽の紅花 イ 駿河の茶 ウ 備後の蘭草 エ 阿波の藍 オ 甲斐のぶどう

問3 下線部aに関連して、薩摩藩の調所広郷が黒砂糖の原料の砂糖きびの栽培を強制し、専売制を強化した場所はどこか、1つ選べ。

ア 屋久島 イ 種子島 ウ 奄美三島 エ 沖縄本島 オ 与那国島

問4 下線部bや「仲間」に関連する記述として、誤っているものはどれか、1つ選べ。

ア 問屋は同業者組合である仲間をつくり、仲間掟を定めて営業権の独占をはかった。
イ 18世紀末まで、幕府は運上・冥加の負担を条件にした仲間を禁止していた。
ウ 営業の独占権を株といい、株を持つ商人たちの仲間を株仲間と称した。
エ 問屋の支配下に、卸売を独占する仲買とその仲間が存在することが多かった。
オ 江戸一大坂間の流通の安全と独占をめざして、江戸の十組問屋と大坂の二十四組問屋が結成された。

問5 下線部 c や農業関係の著作物の著者名・書名の組み合わせとして、正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア 大原幽学・『農業全書』 イ 宮崎安貞・『農具便利論』 ウ 田中丘隅・『民間省要』
エ 大原幽学・『清良記』 オ 宮崎安貞・『会津農書』 カ 田中丘隅・『耕稼春秋』

問6 下線部 d が刊行された時期はいつか、1つ選べ。

- ア 17世紀前半 イ 17世紀後半 ウ 18世紀前半 エ 18世紀後半 オ 19世紀

問7 下線部 d の内容に該当するものはどれか、2つ選べ。

- ア 治水・駅制などの諸問題をとりあげて意見を述べたもので、当時の将軍に献上された。
イ 経済を道徳に先行させ、武士も商業を行ない、専売制度によって利益をあげるべきだと述べている。
ウ 国内を開発し、金銀を採掘するとともに、貿易を盛んにして、属島を開発することを主張した。
エ 多くの産物を取りあげ、栽培から加工、栽培に用いる農具、産物の商品化の流通過程などを述べた。
オ 農家の安定とともに、国産の商品作物の栽培を奨励して、国益を意図した殖産興業をはかった。
カ 厳しい勤労と儉約を中心とした事業法である、報徳仕法の実際や原理について述べている。

問8 空欄 3 に該当するものはどれか、1つ選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

- ア 干鰯 イ 鯨油 ウ 草木灰 エ 厩肥 オ 堆肥

問9 下線部 e に関連する記述として、誤っているものはどれか、2つ選べ。

- ア 漁業では、網元が多く漁夫を雇い大規模な漁法を展開するようになった。
イ 網漁は、肥前・松前などの漁民によって全国に広まり、各地に漁場が開かれた。
ウ 塩業では、揚浜法にかわって入浜法が開発され、生産量が増加した。
エ 製材用具では、大鋸^{おが}にかわって鋸を使用するようになり、板材を大量生産できるようになった。
オ 薪や炭は都市での燃料の需要などが増えたため、大量に生産されるようになった。
カ 林業は、都市の木材需要の増大によって発展し、木曽の杉、秋田の檜^{ひのき}などの美林がつくられた。

問10 下線部 e のうち、漁業に関する産地と代表的な産物の組み合わせで誤っているものはどれか、1つ選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

- ア 肥前五島・鮪^{まぐろ} イ 土佐・鰹^{かつお} ウ 瀬戸内・鯛^{たい} エ 九十九里・鰯^{にしん} オ 紀伊・鯨^{くじら}

問11 下線部 f に関連して、地名と産出する主な金属の組み合わせで誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア 伊豆・金 イ 但馬生野・銀 ウ 下野足尾・銅 エ 伊予別子・銅 オ 出羽阿仁・鉄

問12 下線部 g に該当する農具はどれか、1つ選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

- ア 唐箕 イ 備中鋤 ウ 千石筵^{ともし} エ 踏車 オ 唐竿

IV 次の文章を読んで問1～12に答えよ。解答はマーク解答用紙の該当する記号をマークせよ。

宗教という観点から日本の近代をながめると、明治新政府は当初、江戸幕府の政策を一部受け継いでいたといえる。長崎の浦上、五島列島における隠れキリシタンへの迫害、あるいは1868年、^a五榜の掲示の中でキリスト教が厳禁されたことなどは、その典型であろう。もう一方の仏教については、新政府が当初、神道国教化を試みたことから全国的に^b廃仏毀釈が展開され、仏教界は大きな被害を被った。さらに1870年に政府は^c1の詔を発して神職・僧侶を教導職に任じるなど、神道国教化の推進をはかった。また、これ以外にも、いくつかの^e民衆宗教が浸透し、一部において強い影響力を保ったが、その多くは教派神道として政府からの公認を得た。このように、明治維新とは一面において復古的な要素を持っていた。^d1869年の版籍奉還に際して従来の太政官制を改め、大宝律令の形式に即したことは、その一例である。

こうした新政府の動向にやや遅れて、明治初期の論壇では、神道や儒教などの旧来の宗教や旧習にとらわれない個人主義、自由主義に基づく思想が^e福沢諭吉などによって説かれた。キリスト教については、札幌農学校教頭をつとめたクラークをはじめとする外国人教師の影響によって、^f新渡戸稲造、^g内村鑑三らが感化を受けたほか、^h熊本洋学校ではジェーンズによって、そこに学んだ青年層へと信仰が広がった。さらに、仏教界においても近代化への自覚が起こり、ⁱ仏教の復興に向けた取り組みがなされた。

しかしながら、近代国家の前提となる個人の信仰、政治と宗教の分離を明確にしえなかったことは、その後の歴史に大きな負債を残すこととなった。とりわけ思想界・歴史学界において、天皇制・神道をめぐる^j思想弾圧が繰り返された。政教分離の原則がようやく定着するのは、戦後の連合国軍最高司令官総司令部（GHQ/SCAP）による^k一連の改革を待たねばならなかった。

問1 下線部aの内容として、誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア 五倫道德の遵守 イ 徒党・強訴・逃散の禁止 ウ 公議世論の尊重
エ 外国人への暴行禁止 オ 郷村からの脱走禁止

問2 下線部bに関連する記述として、誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア 神仏分離（判然）令をひとつの契機として起こった。
イ 藩による寺領の没収が数多く行なわれた。
ウ 全国的に入会地の整理統合が進められた。
エ 多くの寺院・仏像などが破壊の対象となった。
オ 越前・三河など一部の地域で、仏教擁護のための護法一揆が起こった。

問3 空欄1に該当する語句はどれか、1つ選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

- ア 神社神道 イ ^{かんながら}惟神 ウ 祭政一致 エ 大教宣布 オ ^{かい}違式註違

問4 下線部cに関連して、近世末から近代にかけて創始された民衆宗教と、その創始者の組み合わせとして正しいものはどれか、1つ選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

- ア 天理教・出口なお イ 金光教・中山みき ウ 黒住教・山室軍平
エ ^{みき}神道禊教・井上日召 オ 大本教・景山英子

問5 下線部dの内容として、正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア 太政官を正院・左院・右院の三院制とした。
- イ 神祇官が太政官よりも上に位置づけられた。
- ウ 工部省を廃して通信省が設置され、通信・鉄道方面を担当した。
- エ 新たに教部省が設置され、神仏合同の推進力となった。
- オ 兵部省が廃止され、陸軍省・海軍省となった。

問6 下線部eの著作は次のうちのどれか、2つ選べ。

- | | | |
|------------|-----------|-----------|
| ア 『文明論之概略』 | イ 『人権新説』 | ウ 『泰西国法論』 |
| エ 『西洋事情』 | オ 『西国立志編』 | カ 『真政大意』 |

問7 下線部fに関する記述として、誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア 国際連盟事務局次長となった。
- イ 小日本主義を提唱し、満州・朝鮮などの植民地放棄を主張した。
- ウ 初代東京女子大学学長として、女子教育に尽力した。
- エ 排日移民法成立の際、強くアメリカを批判した。
- オ 『武士道』によって、日本文化を広く海外に紹介した。

問8 下線部gに関する記述として、誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア 『万朝報』に迎えられたが、日露戦争に対し非戦論を唱え、後に退社した。
- イ 第一高等中学校に在任中、教育勅語に最敬礼せず、辞職に到った。
- ウ 『代表的日本人』を著した。
- エ 無教会主義を唱えた。
- オ 民友社を創立して平民主義を提唱した。

問9 下線部hに学んだのは誰か、2人選べ。

- ア 井上毅 イ 植村正久 ウ 海老名弾正 エ 北村透谷 オ 徳富蘇峰 カ 新島襄

問10 下線部iに関連して、精神主義運動を展開して仏教の近代化をはかろうとした浄土真宗大谷派の僧侶は誰か、1人選べ。

- ア 清沢満之 イ 河川慧海 ウ 島地黙雷 エ 鈴木大拙 オ 赤松克麿

問11 下線部jに関連して、1891年に著した「神道は祭天の古俗」によって、神道家・国学者から排撃された歴史学者は誰か、1人選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

- ア 美濃部達吉 イ 久米邦武 ウ 津田左右吉 エ 内藤虎次郎 オ 河合栄治郎

問12 下線部kに関連する1945年の神道指令についての記述として、誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア 国家と神道との分離指令とも称された。
- イ 内務省神祇院の廃止が盛り込まれていた。
- ウ 公教育に携わる機関において、神道の弘布を禁止した。
- エ 神道に対する公的な監督を命じた。
- オ 神道を通した軍国主義・国家主義思想の喧伝を禁止した。

V 次の文章および史料A～Dを読み、問1～16に答えよ。解答はマーク解答用紙の該当する記号をマークせよ。

日本の原始・古代から現代にいたる情報とメディア（媒体）の歴史について、いくつかの問題をとりあげて、考えてみることにしたい。

文字のない時代のメディアは、造形物や絵画であったと考えられる。縄文時代には、土器の装飾や土偶などの立体的な造形表現が盛んであったが、弥生時代になると減少し、平面的な絵画表現が見られる。弥生土器に描かれた線刻の絵画や日本独自の発展をとげた青銅器である 1 の中には、当時の生活の様子などを描いたものも存在する。こうした原始・古代の造形物や絵画の背景には、当時の観念的世界を読みとることができるだろう。

古墳時代には、大陸から漢字が伝来して、メディアの世界は一変する。また、漢字で書かれた儒教や仏教の経典がもたらされたことによって、古代の宗教や思想に大きな影響を与えた。奈良時代の百万塔陀羅尼^aは、経典が大量に刷られた事例として知られている。

律令制下で帳簿や貢進物などの荷札に用いられた木簡は、この時代のメディアのひとつであった。史料Aは木簡に記された記事の一例である。

史料A (1) [表] 伊豆国賀茂郡三嶋郷戸主占部久須里戸占部広庭 2 亀堅魚拾壹斤
[裏] 拾両 員十連三節 天平十八年(注1)十月
(注1) 西暦746年。
(2) 長屋親王宮鮑大贊十編^{あわびおおにえ}

中世には経典など仏教関係のものを木版印刷することが行なわれたが、その後、ヨーロッパ人の来航によってもたらされたキリシタン版・天草版と、朝鮮侵略の際に伝えられた活字印刷術である、後陽成天皇の 3 勅版などがあつた。

江戸時代に入ると、木版印刷の技術が飛躍的に進歩し、多くの書物が刊行されるようになった。しかし、幕府はこうした出版業界の発展を警戒するべきものとして、出版統制を行なうようになった。史料Bは幕府によって版木を没収された書物である『海国兵談』の一節である。

史料B 海国の武備は海辺にあり。(中略) 当世の俗習にて、異国船の入津(注1)は 4 に限りたる事にて、別の浦へ船を寄する事は決して成らざる事と思へり。実に太平に鼓腹(注2)する人と云うべし。(中略) 当時 4 に嚴重に石火矢(注3)の備有て、却て、安房・相模の海港に其備なし、此事甚だ不審。細かに思へば、5 の日本橋より唐・阿蘭陀迄境なしの水路なり。

(注1) 入港のこと。 (注2) 太平を楽しむこと。 (注3) 大砲のこと。

しかしながら、江戸時代後期には出版物や貸本屋が普及し、滑稽本や人情本、読本などと呼ばれたジャンルの本が広まったのである。

近代に入ると、報道・評論・啓蒙などを目的とする伝達手段として、文字メディアが急速な発展をとげた。その背景には、漢字・かなの鉛製活字の量産化により日本でも可能になった、新しい印刷術の存在があった。東京を中心として、1870～80年代にはさまざまな新聞・雑誌が創刊され、政治・社会の評論や風刺、近代思想の紹介、国内外の時事や風俗の紹介などもさかに行なわれた。また、1880年代以降になると、江戸期以来の戯作の影響を脱した近代文学が誕生し、新しい形式の小説や詩歌がしだいに大衆に受け入れられていった。20世紀に入り、義務教育の普及もあって国民のほとんどが文字を読めるようになると、新聞・雑誌の発行部数は飛躍的に伸び、大正期から昭和初期にかけて100万部を超えるものも現れるようになった。史料Cは、近代初頭における文字メディアと報道の勃興を支えた人物のひとり、福地桜痴（源一郎）が記した『新聞紙実歴』の一節である。

史料C 余が新聞紙におけるほとんど半生の境界たり、けだし新聞紙には宿世の因縁あるものに似たり。かえりみるに余が十五、六歳のころいまだ郷里の長崎に在りてわが師名村花蹊先生について（中略）稽古通詞たりし時に（中略）先生さればなり西洋諸国には新聞紙と唱え毎日刊行して自国はもちろん他の外国の時事を知らしむる紙あり、カピタンはその新聞紙を読んでもつばらその中より重だちたる事がらをばかくは書き記して奉行所へ言上いたすなりと告げ（中略）これ余がはじめてニューエスの語を聞きそのものを見たる始めなりき。（中略）

その後（慶応二年）ふたたび幕使に随行して英仏二国に駐在せるおよそ十か月この間あえて繁劇というにもあらざりければパリ、ロンドンの諸名家に会して新聞紙のことを問ひ、その内外の政治に関して輿論を左右するものはすなわち新聞の力なりと聞き、あわれ余にしてみても才学文章あれば時機を得て新聞記者となり時事を痛快に論ぜんものと思ひそめたりき。

これらの文字メディアに加え、大正期には、映像メディアも急速な発展を遂げた。映画の輸入と公開はすでに19世紀末に始まっていたが、1903年には東京浅草に日本初の常設映画館「電気館」が開館し、1912年に日活、1920年に松竹が日本オリジナルの本格的な映画を製作し始めた。当時の映画はまだ音声がつかず、楽隊の伴奏をバックに弁士が場面を説明するもので、6ともよばれていたが、しだいに大衆娯楽として観客を集めるようになった。興行当初はドキュメンタリー映画も流行ったが、やがて商業的な映画の多くは時代劇などのストーリー性をもつ「劇映画」となり、劇映画の前に短いニュース映画をつけて上映する形式が一般的になった。史料Dは、文字メディアとは異なる性格を持つ映像メディアへの期待として、今村太平が1940年に『キネマ旬報』へ発表した「記録映画論」の一節である。

史料D 記録映画の本源的な形態としてのニュース映画がまず仮構的である。たとえばパラマウントの世界ニュースのごとき、それぞれの断片は事実の記録であっても、世界ニュースとしては必ずしも世界の客観的な記録ではない。（中略）たとえば、戦争のつぎに自動車競走がある。ヒットラーの演説のつぎにゴルフの名人の妙技がある。それらは相互になんの関係もないから体系としてのみ存在する現実の世界を否定する。（中略）現実の世界ではヒットラーの演説は他のはるかに重大な事件に関連しており、また全然別個の事件を惹き起した。一九三九年のニュースでは自動車競走が行なわれており、一九四〇年のニュースでもまた自動車競走が行なわれている。これは太平無事な一年間である。しかし世界はこの一年間でいかに激変したか。いくつの国が亡んだであろうか。

（中略）映画による記録が、文字による記録よりもいっそう社会的に有効であるという事実を認める人は、また映画による記録の段階の到来をも疑わないだろう。（中略）今日のニュース映画が仮構の侵犯をうけていることは前述したが、それにもかかわらずニュース映画は記録映画の根本的契機を含んでいる。（中略）いっそう高い生産力が、今日のラジオやスチール写真機以上に映画の機械を普及させるであろうということは可能である。その結果、あらゆる人が映画で記録できるようになる。あらゆる人の映画記録を基礎にしたニュースが、今日の映画会社ないしは一新聞社のニュースよりもはるかに客観性をもつということは疑いない。

この史料に述べられた「記録映画」のもつ問題点への自省と、その一方での普及への期待は、戦後のテレビ放送、さらには現代のインターネット空間における、視覚メディアを駆使した情報発信のあり方を予言しているようで、たいへん興味深い。

問1 空欄1に該当するものはどれか、1つ選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

ア 銅剣 イ 銅矛 ウ 銅戈 エ 銅鐸 オ 銅鏡

問2 下線部aに関して、誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア 木製の小塔である百万塔に納められた、陀羅尼経である。
- イ 聖武天皇の発願でつくられたものである。
- ウ 恵美押勝の乱の後に、死者の冥福を祈るためにつくられた。
- エ 南都の十大寺に、十万基ずつ安置させた。
- オ 現存する世界最古の印刷物といわれている。

問3 空欄2に該当するものはどれか、1つ選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

ア 租 イ 庸 ウ 調 エ 雑徭 オ 出挙

問4 史料A(1)・(2)の記事に関連した文章として誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア (1)は、伊豆国賀茂郡三嶋郷から中央に納められた、鰹11斤に付けられていた荷札である。
イ (1)の「戸主」は郷戸(戸)を代表する者であり、郷戸(戸)は25人程度が多かった。
ウ (2)の「親王」は天皇の兄弟や皇子に与えられる称号で、本来長屋王に与えられるものではなかった。
エ (2)の「贄」は、天皇への海産物や鳥獣などの食料品の貢納物のことをいう。
オ (1)の木簡は、(2)の木簡よりも前の時代に書かれたものである。

問5 空欄3に該当するものはどれか、1つ選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

ア 元亀 イ 天正 ウ 慶長 エ 元和 オ 寛永

問6 空欄4・5の組み合わせとして、正しいものはどれか、1つ選べ。

ア 4 長崎・5 江戸 イ 4 長崎・5 大坂 ウ 4 対馬・5 江戸
エ 4 対馬・5 大坂 オ 4 平戸・5 江戸 カ 4 平戸・5 大坂

問7 史料Bの出典である『海国兵談』およびその著者について、正しいものはどれか、2つ選べ。

- ア 『海国兵談』では、主に陸戦や砲戦の軍備や戦術を図解し、解説されている。
イ 『海国兵談』では、ロシアの南下を警告し、海防の必要性が説かれている。
ウ 『海国兵談』の版木が没収されたとき、幕府の老中は水野忠邦であった。
エ 著者である林子平は『三国通覧図説』を著し、日本を中心に朝鮮・琉球・蝦夷地を図示・解説した。
オ 著者である林子平は、高山彦九郎、頼山陽とともに、寛政の三奇人の1人である。
カ 著者である林子平は、『西域物語』を著し、西洋諸国の国勢や風俗を述べ、交通・交易などを説いた。

問8 下線部bに関する著者名・書名の組み合わせとして、誤っているものはどれか、1つ選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

ア 式亭三馬・『浮世床』 イ 十返舎一九・『東海道中膝栗毛』 ウ 為永春水・『春色梅児誉美』
エ 上田秋成・『雨月物語』 オ 曲亭馬琴・『南総里見八犬伝』

問9 下線部cに成功した、もと長崎通詞は誰か、1人選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

ア 前島密 イ 和泉要助 ウ 臥雲辰致 エ 本木昌造 オ 田中久重

問10 下線部dの時期に出版されていた雑誌の説明として、誤っているものはどれか、2つ選べ。

- ア 『新思潮』第三次は、芥川龍之介らにより発刊され、菊池寛らが活躍した。
イ 『主婦之友』は、都会の主婦を対象とし、生活の知恵や小説などを掲載した。
ウ 『文藝春秋』は、横光利一の設立した文藝春秋社から刊行された。
エ 『中央公論』は、滝田樗陰の編集により、大正デモクラシーに大きな影響を与えた。
オ 『文学界』は、北村透谷らによって創刊され、島崎藤村の詩などが掲載された。
カ 『週刊朝日』は、大衆化した文化を反映する編集により、部数を伸ばした

問11 下線部 e に示された報告の名称として、正しいものはどれか、1つ選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

- ア 『環海異聞』 イ 『オランダ風説書』 ウ 『耶蘇会士日本通信』
エ 『唐船風説書』 オ 『西洋紀聞』

問12 下線部 f の思いから史料 c の著者が筆を奮った新聞として、正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア 『東京日日新聞』 イ 『郵便報知新聞』 ウ 『日新真事誌』
エ 『時事新報』 オ 『横浜毎日新聞』

問13 空欄 6 にあてはまる用語として、正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア ジオラマ イ 浪曲 ウ 活動写真 エ トーキー オ キネトスコープ

問14 下線部 g に述べられた時期のできごととして、正しいものはどれか、2つ選べ。

- ア ドイツがソ連と不可侵条約を結んだため、欧州情勢は複雑怪奇として米内内閣が総辞職した。
イ 対米宣戦後、日本はフィリピン、ビルマ、オランダ領東インドなどを占領下においた。
ウ 中国国民党と中国共産党は内戦を停止して提携し、抗日民族統一戦線が成立した。
エ ドイツのポーランド侵攻により、イギリス・フランスはドイツに宣戦布告を行なった。
オ 北部フランス領インドシナに進駐した日本に対し、アメリカは日米通商航海条約の廃棄を通告した。
カ 近衛内閣の声明に応じた汪兆銘を首班とする新国民政府が、南京に誕生した。

問15 下線部 h に関して、放送開始以降、戦時中までの説明として、誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア 契約者数は、開局の年には30万人台だったが、満州事変の後には100万人以上へと伸びた。
イ 東京放送局が日本放送協会に統合されると、大阪・名古屋などで民間放送が始まった。
ウ 国民の健康促進を目的として、伴奏と号令で構成されるラジオ体操が企画された。
エ スポーツの実況番組も多く、発足したばかりの東京六大学野球が人気を集めた。
オ レコード録音された「終戦の詔勅」により、放送史上初めて天皇の声がラジオで流れた。

問16 1953年の「電化元年」以降、家庭へと急速に普及し、下線部 i とともに「三種の神器」とよばれた工業製品2種の組合せとして、正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア 掃除機・電話 イ 掃除機・冷蔵庫 ウ 自家用自動車・クーラー
エ 自家用自動車・電話 オ 洗濯機・冷蔵庫 カ 洗濯機・クーラー

〔以下余白〕